

長期目標	中期目標	短期目標（評価項目）	自己評価（保育従事者）	
こどもまんなか・ひとりひとりが愛されて輝くコミュニティ	ひとりひとりが愛される保育	毎日喜んで働くことができている	A	
		こどもの姿を全感覚を用いて受けとめる	B	
		保護者を子育ての主役として応援する関係づくり	B	
		感謝の言葉、肯定的な言葉	A	
	ひとりひとりの生き方を尊重	ドキュメンテーションを通じて、こどもの視点に立つ	こどもの輝きを引き出す環境設定	C
			生活習慣を身につける環境・指導・援助の工夫	C
			職員同士での保育の振り返り、語り合い	C
			事故防止・安全への配慮	B
			地域の方々と関わりこどもの遊びを発展させる	C
	地域と一緒に子育て	こどもの育ちを保護者・地域に発信	保護者の保育参加を皆で喜べる工夫	C
				C
				C
評価・改善策	<p>今回、園のビジョンをもとに8名の保育従事者を対象に行った自己評価では、ドキュメンテーションをベースとした活動の発展のさせ方、また生活習慣の改善、職員の振り返りという「情報共有」において項目の課題が見られた。午睡を一律に行わないスタイルのため、職員が顔を合わせて情報共有を行う時間が決定的に不足している。今後、夕方保育の運営方法を工夫することで週1回の保育者・地域連携職員を含めたMTGを開催し、PDCAサイクルを加速し地域と共に子育てをするビジョンを実現していきたい。</p>			
総評	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を行うことで、職員が喜んで働いている現状、こども一人一人を理解しようという保育士の熱い思いが改めて確認できたと共に、情報共有を行う中で組み立てていく地域連携や環境設定がまだまだであることを実感した。 ドキュメンテーションを軸としたこども理解を推進していく上でも、ドキュメンテーションのスキルアップと、職員の情報共有体制について今の保育者のICTスキルを鑑み最も良い方法を工夫していく必要を感じている。 ひとつの大きな家族として、こどもも保護者も、地域関係者も喜んで園に関わることができるように信頼関係を深めていきたい。 			

平均評点に対するの評価 A:80%以上 B:60-80% C:40-60% D:40%以下